



# Design

Design ～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域包括ケア病棟広報誌Design号外7号です。表面は、“彩り”で受け入れした事例の紹介とゴールデンウィークの受け入れについてのお知らせです。裏面は、老健やましろでの新たな取り組みの紹介です。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

## 地域包括ケア病棟“彩り”で受け入れした事例の紹介（第29回）

### ～在宅から“彩り”、“彩り”から老健やましろ入所を経て在宅～

要支援、在宅酸素使用中の80歳代の患者さんです。地域のケアマネジャーより、住宅改修の期間（数週間）、老健やましろ入所の依頼がありましたが、その時点で老健やましろでは在宅酸素の方の受け入れをしていなかったため、一旦、地域包括ケア病棟“彩り”で受け入れし、ADLの確認と、老健やましろでの在宅酸素の受け入れ準備をする時間を過ごして頂くことにしました。

受け入れの前に、老健やましろの常山支援相談員、西田ケアマネジャーと共に自宅訪問し、ご本人の意向や住環境の確認を行うと共に、老健やましろを経由して在宅復帰するまでの大まかな支援を確認しました。



普段、病院の退院支援では、自宅を訪問することはほとんどありませんが、本来はこうして実際の現場を訪問することで、より良い個別性の高い退院支援になるのだと思いました。

今回は、入院前に自宅訪問し、入院の目的や退院を見据えた支援を事前に確認した上で受け入れを行いましたので、在宅から“彩り”を経由してスムーズに老健やましろ入所へ繋ぐことができました。今後も、機会があればどんどん現場へ足を運び、退院支援のレベルを上げていきたいと思えます。患者さんは老健やましろ入所後、住宅改修が終了後に自宅に戻られ、現在は老健やましろの通所リハビリとショートステイをご利用中です。（地域医療連携室 主任 中嶋 庸介）



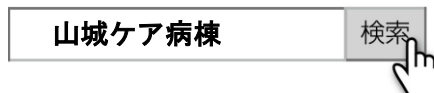
### ゴールデンウィークの期間中、地域包括ケア病棟“彩り”で受け入れします。

ゴールデンウィーク期間中、一時的に在宅医療の継続が困難となる場合など、ご利用下さい。院内調整の兼ね合いもあるため、4月19日（金）頃までにご連絡いただきましたら幸いです。

**0774-73-1818（担当：中野・中嶋）**

### 「山城ケア病棟」と検索下さい。

地域包括ケア病棟広報誌“Design”のバックナンバーがご覧頂けます。もちろん、スマホでもご覧頂けますので、お気軽にアクセスして下さい。



## 老健やましろでの新たな取り組みについて

### ～ふれあい広場を開催しました～

老健やましろでは、地域のみなさまに老健をもっと身近に感じ、広くご利用していただけるよう、2月16日（土）に『老健やましろ ふれあい広場』を開催しました。今回は、『介助の方法について ～寝返りから立ち上がりまでの介助～』というテーマで、老健のリハビリ専門職が、高齢者への介助の基礎や安全安楽な介助方法について、声掛けや介助のタイミングなども含めて講習しました。

「寝返りから立ち上がりまでの動作」と聞くと、ものすごく単純な動きのように感じられますが、その過程には、寝返り⇒起き上がり⇒座位⇒立ち上がりといった一連の動作があり、それぞれに、寝たきり防止につながる重要な役割があります。特に、「座る」ということは、表情が良くなりコミュニケーションが取りやすくなるだけでなく、両手が使えることで生活の幅が広がり、食事・排泄等が自然な姿勢で行えることで生活の質も格段に向上します。前半の講義は、このような普段何気なく行っている動作の役割や奥深さを改めて感じるものでした。

後半は実技講習でしたが、参加者の中には、実際にご自宅で家族の介護をされている方も多く、自宅での環境設定や普段の介助で困っていることなど、熱心にアドバイスを受けながら実技を体験されていました。

今回は、初めての開催でしたが、これからも様々なテーマを取り上げ、地域のみなさまとふれあえる場を持ちたいと思っています。

（老健やましろ 管理部長 三村 裕子）



## 研修会のお知らせ

### ～老健やましろと地域医療連携室が共催で研修会を開催します～

日時：平成31年4月15日（月）午後2時00分～午後3時30分



会場：当院9階会議室（一部）・老健やましろ1階会議室（二部）

対象：地域の専門職の皆様、当院職員、老健やましろ職員

内容：「老健やましろってこんなところ」 桑原 満由美（老健やましろ 看護師）他

※「きづがわねっと」にて研修会の内容・申込書を配信しています。

ご不明な点は地域医療連携室（担当：中嶋・中野）までお問い合わせ下さい。皆様からのお申し込みをお待ちしています。

## 麻疹（はしか）が流行しています。

### ～地域の皆様へご協力をお願いします～

周辺地域で麻疹患者の発生が報告されています。新たな感染を防ぐため、不要不急のご来院を控えて頂くと共に、ご自身のワクチン接種歴などについて可能な限りご確認して頂きますようお願いいたします。なお、当院ホームページにも麻疹についての情報を掲載していますので、詳細はホームページをご覧ください。（地域医療連携室 室長 南出 弦）